

Ⅲ 将来のまちの姿

1. まちづくりの基本理念と目標

(1) まちづくりの基本理念

戸塚区は、これまでのまちづくりを土台としながら、人々が住み続け、成熟社会にふさわしい多様な豊かさを生みだすまちを目指します。また、少子高齢社会の進展、自然的環境との共生等の中、これまでの産業・経済活動、市民活動等のあらゆる都市活動が、今後とも活力と活気を維持し、持続していくことができるまちを目指します。

自然と歴史に育まれ、暮らしとにぎわいがあるまち戸塚
～活力と活気のある持続可能な社会の実現～

(2) 基本目標

■ まちづくりの蓄積を大切にしながら持続するまち

戸塚区は、商業や工業、住宅、河川、緑地などが隣り合う都市形態を持っています。この特徴やこれまでのまちづくりを持続、発展させ、働く場や暮らしの場など多様なニーズに対応した豊かな生活ができるまちを目指します。

■ 生活と産業を支える利便性の高いまち

公共交通や道路網の充実、歩行空間等の改善により、誰もが安全で快適な移動ができ、多様な交通手段を選択できるまちを目指します。更に、鉄道や道路による広域ネットワークを形成し、産業の競争力を支えるまちを目指します。

■ 環境と共生し、環境への負荷が小さいまち

地球温暖化への対応、川や緑等の自然環境の保全と生物多様性への取組などを視野に入れ、区民・事業者・行政が一体となって環境負荷の小さいまちづくりに取り組み、自然と人とが共生する社会を目指します。

■ 地域の風土を生かした魅力ある戸塚らしさのあるまち

まちへの愛着を感じ、住み続けたいと思えるまちにしていくために、歴史や自然に育まれた地域の風土を大切にします。更に、潤いのある都市空間の形成を目指し、戸塚らしさを感じられるような魅力あるまちづくりを進めます。

■ 戸塚の活力を支えるまち

戸塚のまちがにぎわい続けるため、魅力ある周辺環境の整備を進め、商業や工業といった産業が持続・発展するまちづくりを推進します。また、地域力を高めるために、活気あるコミュニティづくりを進めます。

■ 安全で安心に暮らせるまち

地震や大雨などによる被害を最小限に抑える災害に強いまちづくりを進めます。一人ひとりの防災意識の向上と、互いに協力し合える地域コミュニティの醸成を図ります。

2. 将来の都市構造

将来のまちの姿の実現に向け、まちを形づくる骨格を、将来の都市構造図としてまとめました。

(1) 拠点

戸塚駅、東戸塚駅、舞岡駅及び踊場駅周辺については、地域特性や周辺環境を生かした生活拠点として位置づけます。

また、舞岡地区については、豊かな自然環境を生かした交流拠点として位置づけます。

【主要な生活拠点】

戸塚駅周辺地区

主要な交通結節拠点であり、業務、商業、文化機能などが集積する拠点です。多様な機能集積とともに、都市基盤や商業施設などの機能強化を図ります。

【駅勢圏が大きい郊外部の生活拠点】

東戸塚駅周辺地区

広域交通網に支えられ、業務、商業、研究開発、産業が集積する拠点です。魅力ある生活拠点にふさわしい、業務、商業、文化、研究開発や良好な都市型住居などの集積を図ります。

【駅勢圏が小さい郊外部の生活拠点】

舞岡駅周辺地区

現在の自然環境を生かし、地域の合意形成を図りながら駅周辺のまちづくりの在り方を検討する地区です。

踊場駅周辺地区

住宅地を中心とした土地利用となっており、地域の生活中心としての役割が求められています。駅周辺に日常的な買物・サービス機能などの充実を図ります。

【交流拠点】

舞岡地区

舞岡町とその周辺には、駅直近でありながら農村文化に親しめる舞岡ふるさと村や、昔ながらの田園風景が残された舞岡公園といった豊かな自然環境があり、周辺には大学が立地しています。また、まとまった緑地を生かした新たな公園と緑豊かな公園型墓地の一体的な整備を計画しています。これらの資源を生かした交流拠点の形成を図ります。

将来の都市構造図



| | | | |
|-----------------|----------------|---------|------------|
| 主要な生活拠点 | 緑の10大拠点 | 行政界(区界) | 幹線道路(既存) |
| 駅勢圏が大きい郊外部の生活拠点 | 戸塚の5つの森 | 鉄道 | 幹線道路(整備予定) |
| 駅勢圏が小さい郊外部の生活拠点 | 魅力の軸 | 河川 | 幹線道路(計画等) |
| 交流拠点 | 水の軸 | | 幹線道路(追加候補) |
| | 鉄道計画路線(横浜環状鉄道) | | 高速道路(既存) |
| | | | 高速道路(整備予定) |

(2) 交通体系

鉄道と幹線道路及び高速道路により、戸塚区の骨格的な交通体系を形成します。

【鉄道】

鉄道ネットワークは、JR 東海道線、JR 横須賀線、市営地下鉄ブルーラインで構成されています。これらの鉄道は、区内を南北・東西方向へと結ぶとともに、横浜都心や東京方面、藤沢市や鎌倉市などへの広域的なアクセスを確保しています。更に、市域の主要な生活拠点を結ぶ横浜環状鉄道を整備することにより、市内の鉄道ネットワークのより一層の充実が図られます。

【道路】

南北方向を結ぶ国道 1 号線、東西方向を結ぶ桜木東戸塚線、桂町戸塚遠藤線、市郊外部をつなぐ環状 3 号線、環状 4 号線などの幹線道路と、横浜新道、高速横浜環状南線などの高速道路により主要な交通ネットワークを形成します。高速道路や幹線道路の整備を進めることにより、区内・市内の各地や、首都圏等への円滑な移動を図ります。

(3) 魅力の軸

戸塚宿を中心に歴史・文化的な「戸塚らしさ」を創り上げてきた旧東海道と、戸塚の自然環境や景観のシンボルとして区民に親しまれている柏尾川沿いの空間を、「魅力の軸」として位置づけ、戸塚の魅力を育みます。

(4) 水の軸と5つの森

緑の 10 大拠点に位置するまとまった緑地を「戸塚の 5 つの森」（名瀬、品濃、舞岡、俣野・深谷、小雀）と位置づけます。これらの一部には河川の源流域があり、境川及び柏尾川とそれぞれの支流による「水の軸」とともに、水と緑のネットワークを形成しています。